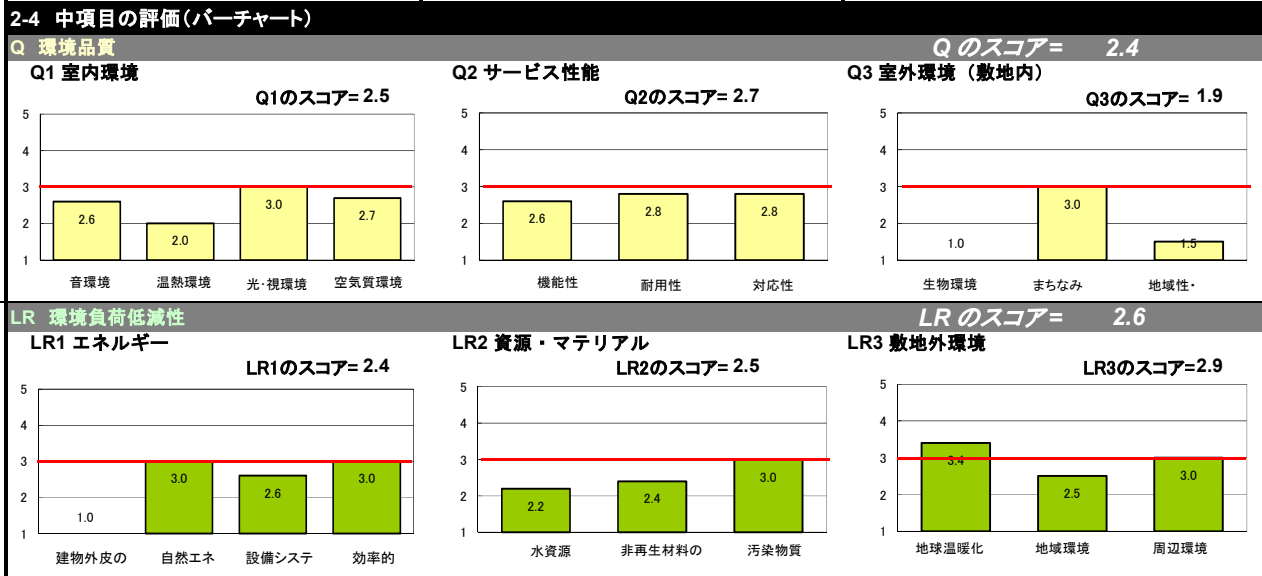
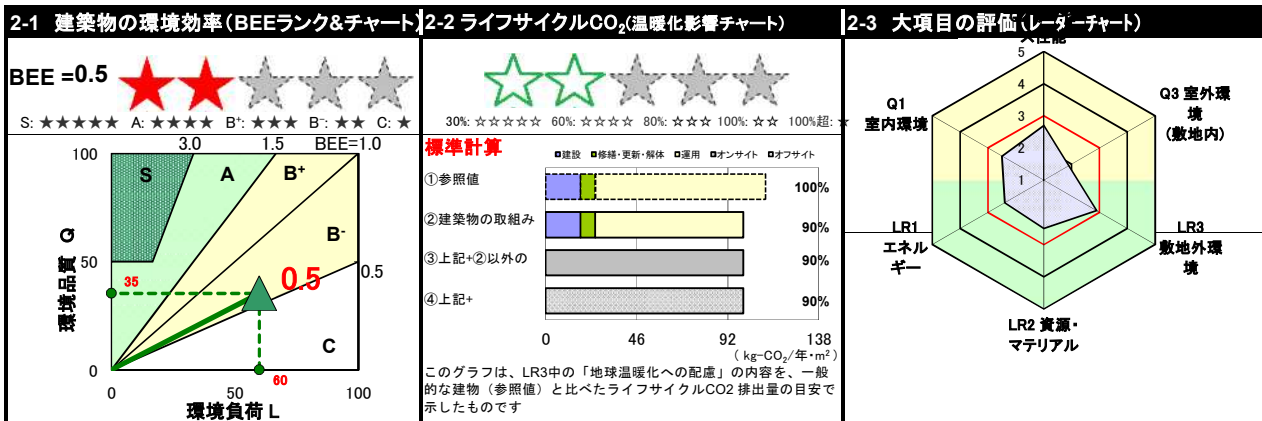


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヤマダ電機茅ヶ崎店新築工事	階数	地上6F、地下1F
建設地	茅ヶ崎市新栄町5601番の2の一部及び同番5	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	- 時間/年(想定値)
建物用途	物販店工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2019年11月18日
敷地面積	6,314 m <sup>2</sup>	作成者	(株)総企画設計開発事業部一級建築士事務所
建築面積	4,863 m <sup>2</sup>	確認日	2019年11月18日
延床面積	30,700 m <sup>2</sup>	確認者	(株)総企画設計開発事業部一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>・ 特になし</p>	<p><b>その他</b></p> <p>・ 特になし</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>・ 断熱性能の高い外皮材料を採用している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>・ 将来の用途変更の可能性等を考慮し、空間の形状・自由さが大きい設計としている。</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>・ 特になし</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>・ 特になし</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>・ 特になし</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>・ 駐輪・駐車・荷捌き用車両等の駐車施設を確保して、周辺道路の渋滞緩和対策は、出入口を2ヶ所設置し、そのうち1ヶ所は出入口幅を20mと大きく設計した。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される